

〇〇小学校等跡施設利活用（企業誘致＋リノベーション） 事業内容

1 事業目的

市が保有する小学校などの空き公共施設を、千葉大や千葉工業大、千葉商科大学生等の参加を得ながら、若者たちであれば「どのように活用することで人口減少に歯止めをかけ、雇用の場を提供し地域経済を活性化できるのか」をテーマに、ビジネスと建築（リノベーション）を取り入れて、市長や住民代表者等に提言するもの。

千葉大、千葉工業大、千葉商科大学生がそれぞれチームを結成して提案をとりまとめ、市長や住民代表者等にプレゼンテーションを行い、市長等は、具体的な提案に対して改善等を行い、実現に向けた方向性を検討する。

2 施設の概要

※住所、構造等、建築年月日、廃校年月日、廃校後の利活用策、市活用方針

3 提案内容

- ① 地域の振興すべき産業・業種等の提案
- ② 事業主体の事業内容、運営方法等
- ③ 跡施設のリノベーション計画
- ④ 市の地域振興への貢献内容（雇用数、地域経済の活性化など）
- ⑤ その他のアイデア

4 提案にあたっての条件等

（前提）

- 10名程度のチームを結成。
- 1チームが提案できる内容は一つ。
- 現地での調査、合宿での検討をおこなうこと。

（分析）

- 市や地域の分析（立地特性、人口動態、産業、雇用等）をおこなうこと。

（効果）

- 市にとって最も効果がある企業誘致であること
 - ・地元雇用を生み出すこと
 - ・地域経済を活性化すること
 - ・周辺地域・住民に貢献すること

（施設利用の考え方）

- 市が整備して管理運営するような提案も含め、事業主体が施設の運営をすること、施設を買取る又は借受けて管理し、維持管理費を利用者が負担することも可とする
- 部分的な活用や、業種を複合した提案も可とする

(費用)

○リノベーションの費用が過大にならないようにすること

- ・費用対効果が見込めること
- ・耐震補強については考慮しない

(法規・制度の適合性)

○現行法規や制度に適合したものであること

6 位置図（各市の全体からの対象施設の位置、詳細図）

7 配置図（施設台帳などの図）

8 写真（施設の全景や内装など）

9 提出物・プレゼンテーション

(提出物)

・提案内容はA1横置き10枚以内（合わせてA3版も・様式は任意・市と要相談）。
(市長等へのプレゼン)

- ・日程は、平成29年9月～10月を予定
- ・プレゼンはスクリーンへの投影によっておこなう。
- ・模型やビデオによるプレゼンテーションも可。
- ・1チームのプレゼンは30分程度、質疑応答5分程度、全体終了後来賓講評予定。

※ただし、各市の状況により、時間数の変更の可能性あり。

発表のコンセプトや経緯などを冒頭説明。

- ・プレゼンは、複数名で行う。

10 提案に係る経費

- ・1チーム当たり60万円
- ・使途として計上できる項目は以下の通り
現地での調査や検討のための交通費、宿泊費
検討ミーティングのための資料作成経費
プレゼン資料作成費（資料印刷、模型作成費等）

11 スケジュール

現時点でのおおよそのスケジュールは以下の通り

- 4月 提案参加者の募集、チームの結成
- 4月～5月 各市の現状についての説明（各市役所が担当）
各市の机上分析、現地調査の内容検討（大学内）
- 6月～9月 現地調査、現地合宿、提案検討、中間報告会等
- 9月～10月 市長等へのプレゼンテーション